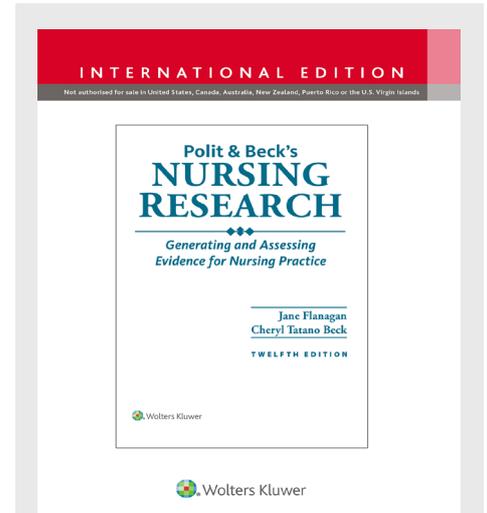


研究の進め方から、実践に役立つ研究報告のクリティカルな評価の仕方に至るまでを網羅した、看護現場におけるエビデンスの作成・評価に関するテキストブック、第12版。変化する今日の医療分野における研究の重要性を示すとともに、研究スキルを効果的に応用して患者転帰を向上させ、キャリアアップを図るよう学生を支援する。

Jane FlanaganおよびCheryl Beck著の新版は、AJN(米国看護学会誌) 賞を受賞し看護、医学、社会科学の各分野で生まれた最新の方法論的なイノベーションを、独自のユーザーフレンドリーなスタイルで詳述する。また、学習に役立つ各種の特徴、教育法、見やすく親しみやすいデザインにより、看護研究の教科書としてNo.1の地位を獲得している。エビデンスに基づく諸事例に支えられた実践的なガイダンスは、抽象概念を現実的な戦略へと転換し、研究の実践的な応用法を明確化する。

第12版までの更新内容は、2022-2026年のNINR (米国国立看護研究所) の戦略計画と現在のAACN (米国クリティカルケア看護師協会) の必須学習要素を反映。とりわけ実践現場における独自の研究、PhD (従来の博士号) 取得看護師とDNP (看護実践博士) 取得看護師との協力、研究エビデンスの体系的レビュー、そして質的なデータの分析に向けた最新アプローチの重要性に焦点を当てている。



**Polit & Beck's Nursing Research: Generating and Assessing Evidence for Nursing Practice, 12/e, International Edition**

**Jane Flanagan**

10/31/2024

**ISBN: 978-1-9752-2381-6**

Format: Paperback

Page Count: 814

JPN ¥23,474 (税込)

\*価格は変更することがあります